

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月31日(金) 14時00分 ～ 16時00分
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長 副 会 長 委 員	坂崎 雄介 奥村 美紀 荻原 明広 小倉 徹 藤井 真紀 村松 敦子 森 巽 山本 和彦	多治見青年会議所理事長 NPO 法人 Mama's Café 理事 明和工業株式会社総務部総務課長 前年度育友会長 育友会副会長 多治見市養正交流センター館長 地域代表 同窓会役員理事	(欠席・書面決議) (欠席・書面決議) (欠席・書面決議)
---------------------	---	---	-------------------------------------

学 校 側	曾貝 隆之 柴田 純孝 相賀 栄寿 加藤 龍輔 青木 崇 加藤 嘉憲 和田 正行	校長 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事 工業部長
-------	--	---

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校の状況説明について

- ①教務部 ②生徒指導部 ③進路指導部 ④工業部
⑤学校評価アンケートの結果

(2) 「多工祭参観」「本校の学校運営に対する提言等」について

意見1：多工祭を楽しませてもらった。地域の人たちに公開することは必要である。(複数)

意見2：どこですれ違っても生徒が挨拶をしてくれて気持ちがよい。

意見3：地域産業と密接に連携した実践的な教育が行われているのがよい。(複数)

意見4：地域へのPR活動は内容がマンネリ化しないような工夫がよい。生徒の成果物は見えない仕組みをオープンにしていく新たな取り組みで、工業高校生がすごい力を持っていることを示せるとよい。

意見 5 : 進路の多様性への対応として、進路選択の幅を広げる取組みができるとよい。

意見 6 : A I 技術の加速度的な進展の中、必要とされるコミュニケーション能力と、自ら考え行動に移せる主体性について、引き続き取組むとよい。

意見 7 : 安全管理体制の強化、基礎教育とのバランスの確保で、教育の質をさらに向上させるとよい。

意見 8 : 次年度の 1 年生が自費でタブレットを購入することで、壊れた場合の補償等が各家庭の負担となり、学校教育を受ける質が変わってしまう恐れがあるがどのように考えているか。

⇒ ハード面だけでなく、生徒がタブレットを活用できる授業展開の研究を現在推し進めている。

意見 9 : 学校アンケートの結果で高評価が多く、学校はとても雰囲気がよいが、そうでない部分もあるので今後の課題としてほしい

⇒ アンケート結果については、今後検討・対応を進めていきたい。

意見 10 : 生徒が多治見市議会を見学に来ていた。若者の投票率が低い中、生徒にどのような教育をしているのか。

⇒ 2 年生の地歴・公民の授業で見学を実施しており、18 歳になる前の段階で傍聴し、まずは生で見て知る。そのうえで情報端末を活用して調べていく。生徒が主体的に学習できるよう教職員が授業でアシストをしている。

意見 11 : 自転車のヘルメットが努力義務になったが、どのように考えているか。また高額なヘルメットの購入をどのように勧めていくのか。

⇒ 生徒の命はなにより尊いと考えており、今年度ヘルメット着用を勧める「ヘル着運動」を実施し、ヘルメット着用者が少しずつ増えている。ヘルメット購入については、多治見市の補助金制度を案内するなど対応をしている。

意見 12 : ハラスメントはよくないことだが、経営者側からすると生徒の忍耐力を身につけさせる取組みをしてほしい。

意見 13 : 多治見市に対する生徒の皆さんの思いや気持ちはどうであるか。

⇒ 地元企業の要望にお応えできるような人材育成と地元への就職にも貢献できるようにしたい。

6 会議のまとめ

第 2 回の本協議会では多工祭を参観していただき、楽しく積極的に活動している生徒の姿を見ていただいた。また各分掌長の報告や本校の取組みおよび学校評価アンケートの結果について理解をしていただくとともに、多くの意見から本校のよさや、地域から期待されている本校の役割を再認識する中で、今後の課題についても確認することができた。

委員の皆様からは、よりよい学校運営のための様々な提言をいただくことができ、本校生徒の更なる成長のために、年度末に向けての教育活動にも取り組んでいきたい